
暁の空

西宮ルナ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暁の空

【Nコード】

N0543Y

【作者名】

西宮ルナ

【あらすじ】

追われるエルフの姫。賞金首の龍人。共に逃げる身にある二人は次第に惹かれあう。しかし、人間という悪魔に、彼らは敵わなかった。

Go away

セレーシア・ロンド・ヴァーツは走っていた。前方にある筈の最後の村が、赤く輝いていたのが見えた。

「お父様ツツ!!」

最後の血縁者である父が、森の民（エルフ）の王が、そこには居た。火の粉が舞い、闇に消えていった。

「お父様アア!!!!」

こぼれた雫が、地に落ち、一瞬で消えた。

もうそこには命はなかった。セレーシアに出来たのは、光が広がる事を防ぐだけだった。神の一族である森の民はセレーシアを残して滅んだ。神の剣であった炎に消されて。

人間から文が届いたのは数ヶ月前のことだった。森の民の王、ザークは、残された仲間の前でそれを読み上げた。

「森の民・エルフ　今では神の一族は激滅し、地上は私達人間が覆うようになりました。貴方達も十分存じているのですが、人間は貴方達を飲み込もうとしております。奴隷となる可能性も、十分あることでしょう。そこで、トシヤ次期国王である私から提案があるのです。流石に皆様全てをお守りすることは不可能でしょう。ですが、ザーク様のお嬢様のセレーシア様だけなら・お助けいたしましょう。条件は、セレーシア様を私の妻とすること。それでは、よきご返事をお待ちしています。

トシヤ次期国王・クォーツ」

父はその場で多数決を取った。しかし、私以外に反対の者はいなかった。父は使者に返事の文を渡した。

昔は森の民が世界を支配していた。自然を愛し、守る私達は支配者に素晴らしいと考えられていた。しかしあるときから、人間が森の民を追い詰めるようになった。

多くの女が性奴隷にされた。男は鉱山での働き手にされた。老若男女関係なく、人間の道具になった。生き延びたわずかな森の民が集まってできたのが、私の村だった。その村は、もうない。

セレーシアは絶望のあまり膝をついた。父が、仲間が逝ってしまった。霧の向こうに。闇の向こうに。セレーシアに残されたのは暗闇だけだった。何故野イチゴを採りに行ったのだろう？何故西の谷まで行ったのだろう？何故私だけが残されたのだろう？そんな問いが頭の中に浮かんでは消え、消えては浮かんだ。

セレーシアに道は一本しかないように見えた。クオーツと婚姻するという暗闇しかない。でも、いやだった。森の民の容姿の美しさに惹かれた男の妻に、なりたくなかった。

逃げ出そう。遠く、遠くに逃げよう。きっと逃げた先に未来があるはずだ。真っ白な未来が。

東の空が白くなり、太陽が昇り始めていた。セレーシアは涙を拭き、籠を持ち走り出そうとした。しかしふと立ち止まり、思い出したように走り出す。

大きな瓦礫の前につくと、籠を置いて瓦礫の中を探った。ほとんどが焼け、灰や炭になってしまっていたが、何とかずっと昔に死んだ母の赤いバンダナと、父の短剣を探し出した。それを野イチゴの入った籠の中に入れて、また走り出した。

（さようなら・・・）

さようなら、と何度も心の中で呟いた。

（迎えの使者が来たとき、彼らはどうするかしら・・・）
セレーシアはぼつりと思った。

（きっと、死体を数えて私が居ない事に気付く筈だわ）
そうなれば、追われる身になるのは分かっていた。それでも、逃げ出したかった。

日がゆっくりと、高く昇っていく。セレーシアは森を駆けた。

G o a w a y (後書き)

森の民 エルフ

人間よりも昔に栄えた民族。今は奴隷にされており、純血のエルフは数少ない(セレーシアしかない)

尖った耳と美しい容姿が特徴。自然を愛し、守る。音楽や舞踊を好む。能力は高く、知能も高いが、武器は主に剣や槍などなので、人間に劣る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0543y/>

暁の空

2011年10月30日15時07分発行